

第33回

西アジア 発掘調査報告会

—令和7年度 考古学が語る古代オリエント—

主催：日本西アジア考古学会、東京文化財研究所

後援：一般社団法人日本考古学協会、公益財団法人古代オリエント博物館、
国士舘大学21世紀アジア学部附属イラク古代文化研究所、早稲田大学エジプト学研究所

2026 3/21_土 ▶ 3/22_日

参加方法

① 会場対面（東京、東京文化財研究所）

参加費無料（非会員のみ当日に資料代1000円）、申込不要

② オンライン視聴（Zoomウェビナーによるライブ配信）

事前申込制（申込み方法は下記をご覧ください）

事前申込み 方法

定員 **500名** ※オンライン視聴のみ

締切 3月22日あるいは満席になり次第

● イベント管理サービスPeatixで受け付けます。
<https://jswaa33.peatix.com>



【お問合せ先】日本西アジア考古学会事務局 office@jswaa.org

写真の遺跡（左上から右下へ）：シンキ（エジプト）、アク・ベシム（キルギス）、
アアリ古墳群西（バハレーン）、タグラル（アゼルバイジャン）

日本の発掘調査隊が
西アジアやその周辺地域で
遺跡調査を行う最新状況を
お伝えする一般講演会です。
今年度は東京文化財研究所と共催で、
上野の同研究所での開催となります。
対面とオンライン併用の開催です。
今年も多くの海外調査が実施され、
最新の調査成果が発表されます。
口頭・ポスター発表含め
総計27本になります。



会場 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
東京都台東区上野公園 13-43

第33回

西アジア発掘調査報告会
プログラム

※発表者が複数の場合も代表者1名のみが記載されています。また、当日発表する方とは一致しない場合があります。

Day 1	2026年 3月21日(土)	
10:00-10:30	開場・受付	
10:30-10:40	開会の辞	
アナトリア、コーカサスの調査		
10:40-11:05	報告①	南コーカサス地方のネアンデルタール人 ―アゼルバイジャン第16次発掘調査(2025年)― ■東京大学総合研究博物館館長・教授 西秋 良宏
11:05-11:30	報告②	石灰岩の丘に暮らした狩猟採集民 ―トルコ、チャクマックテペ遺跡第5次調査(2025年)― ■筑波大学人文社会系教授 三宅 裕
11:30-11:55	報告③	南東アナトリア先土器新石器時代の丘上遺跡 ―ハルベトスワン・テベシ遺跡の第4次調査(2025年)― ■千葉工業大学地球学研究センター研究員 下釜 和也
11:55-13:25	昼食休憩(90分)	
13:25-13:50	報告④	中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて ―キュルテペ遺跡中央トレンチ発掘調査(2025年)― ■ノートルダム清心女子大学教授 紺谷 亮一
メソポタミア、レヴァントの調査		
13:50-14:15	報告⑤	新石器化と都市化のはざま ―イラク・クルディスタン、シャイフ・マリフ遺跡の 第2次発掘調査(2025年)― ■金沢大学国際基幹教育院准教授 小高 敬寛
14:15-14:40	報告⑥	南メソポタミア最北部のシュメール初期王朝及び アッカド王朝時代の古代都市遺跡 ―イラク、テル・シンカー遺跡の地表面調査(2024～2025年度)― ■長崎国際大学人間社会学部准教授 川上 直彦
14:40-14:50	休憩(10分)	
14:50-15:15	報告⑦	後期青銅器時代の都市国家を探る ―イスラエル、テル・レヘシュ第14次発掘調査(2025年)― ■立教大学文学部教授 長谷川 修一
15:15-15:40	報告⑧	ローマ・ビザンツ時代の埋葬の変遷を探る ―ラマッラー～ナブルス間(パレスチナ自治区)における 分布調査(2025年)― ■中部大学中部高等学術研究所日本学術振興会特別研究員(PD) 長尾 琢磨
アラビア半島の調査		
15:40-16:05	報告⑨	ディルムンの王墓を掘る ―バハレーン、アアリ古墳群西プロジェクト2025― ■東京文化財研究所文化遺産国際協力センター保存計画研究室長 安倍 雅史
16:05-16:15	休憩(10分)	
16:15-16:40	報告⑩	バハレーン・ティロス期のマカバ第1号墳の葬送に関わる行為 ―マカバ第1号墳の調査2025― ■奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー 西藤 清秀
16:40-17:05	報告⑪	砂漠の入り口に位置する先史時代墓地 ―オマーン、アッ＝スバイヒ遺跡における 緊急発掘調査(2025年)― ■東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教 黒沼 太一
17:05	1日目終了	

1日目終了後の懇親会に参加希望の場合は、こちらのQRコードよりお申し込みください。



発表順などは変更されることがあります。最新情報はウェブページでご確認ください。

<http://jswaa.org>

日本西アジア考古学会

検索

Day 2	2026年 3月22日(日)	
10:00-10:30	開場・受付	
アラビア半島の調査		
10:30-10:55	報告⑫	南東アラビアのオアシスにおける考古学的景観 ―オマーン、アル＝ハジャール遺跡およびユネスコ世界遺産 パート遺跡群・アル＝アイン遺跡における踏査(2025年春季)― ■東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教 黒沼 太一
10:55-11:20	報告⑬	南東アラビア山麓峡谷における山岳牧民の起源を探る ―オマーン、タヌーフ地区における考古学調査(2024-2025年)― ■慶應義塾大学文学部准教授 三木 健裕
11:20-11:45	報告⑭	イスラーム時代のヒトとモノの移動を探る ―サウジアラビア・紅海沿岸ハウラー遺跡の考古学調査(2025)― ■早稲田大学・東日本国際大学客員教授 長谷川 奏
11:45-13:15	昼食休憩(90分)	
エジプト、エチオピアの調査		
13:15-13:40	報告⑮	ギザ台地の墓地形成史を探る ―エジプト・ギザ西部墓地発掘調査(2025年度)― ■早稲田大学考古資料館学芸員 馬場 匡浩
13:40-14:05	報告⑯	アビュドス南における地方ピラミッドとその周辺遺構の発掘調査 ―エジプト、シンキ考古学プロジェクト2024-2025― ■名古屋大学教授 河江 肖刺
14:05-14:30	報告⑰	紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る ―ダハシュール北遺跡第30次調査(2024～2025)― ■東日本国際大学エジプト考古学研究所客員教授 矢澤 健
14:30-14:40	休憩(10分)	
14:40-15:05	報告⑱	ヘレニズム村落の構造を探る ―エジプト・イドック湖沿岸コーム・アル＝ティバーウ遺跡の考古学調査(2025)― ■早稲田大学・東日本国際大学客員教授 長谷川 奏
15:05-15:30	報告⑲	エチオピア南東部の中世イスラーム遺跡群 ―オロミア州西ハラルゲ県・東バレ県の遺跡踏査報告(2025年)― ■東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所ジュニア・フェロー 遠藤 仁
中央アジアの調査		
15:30-15:55	報告⑳	天山山脈北麓に古代遊牧活動を探る ―キルギス共和国シャムシー渓谷の考古学調査(2025年)― ■奈良文化財研究所主任研究員 山藤 正敏
15:55-16:05	休憩(10分)	
16:05-16:30	報告㉑	シルクロードの国際交易都市スィヤブの成立と変遷 ―キルギス共和国アク・ベシム遺跡の調査(2025)― ■帝京大学文化財研究所准教授 榎原 功一
16:30-16:55	報告㉒	原シルクロードの形成 ―ウズベキスタン、ダルヴェルジン遺跡(第6次)の発掘調査(2025年)― ■金沢大学客員研究員 久米 正吾
16:55-17:20	報告㉓	ソグディアナの都市を探る ―ウズベキスタン共和国クドル・テバ遺跡発掘調査(2025年度)― ■東北芸術工科大学准教授 村上 智見
17:20	閉会の辞	
17:25	閉会	

ポスター展示 (会場対面のみ、 オンラインでは ご覧いただけません)	ポスター①	ホルムズ海峡に面した南東アラビア北端部の歴史を紐解く ―オマーン、ムサンドム北部地区における考古学調査(2025年)― ■総合地球環境学研究所教授 近藤 康久
	ポスター②	エジプト、サッカラ・ネクロポリスの展開を探る ―エジプト、第9次北サッカラ遺跡調査(2025)― ■筑波大学人文社会系教授 河合 望
	ポスター③	レヴァント回廊の歴史を探る ―フェニキアの港バトルーン遺跡、レバノン:第11次調査(2025年)― ■中部大学人間力創成教育院教授 西山 伸一
	ポスター④	アッシリア帝国東部辺境を掘る ―イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト:第9次調査(2025年)― ■中部大学人間力創成教育院教授 西山 伸一